

主催：ダムによらない治水・利水を考える県議の会  
緊急学習会

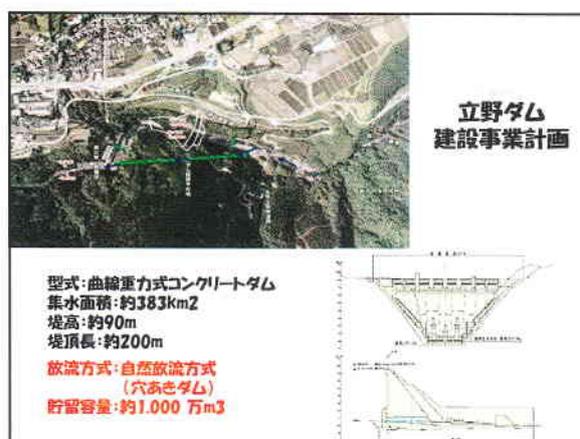
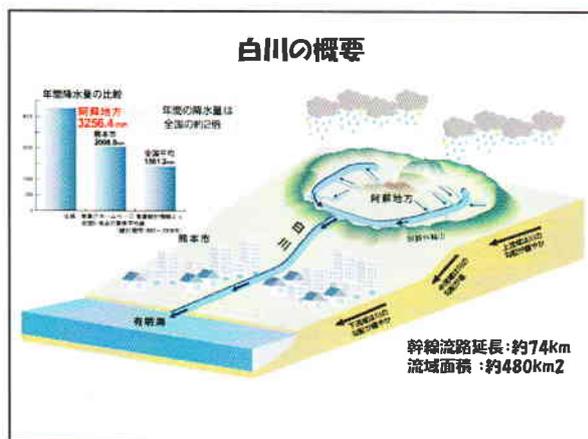
# ダムをめぐる状況と 立野ダム

2013年4月26日

今本博健

## 日本の治水略史

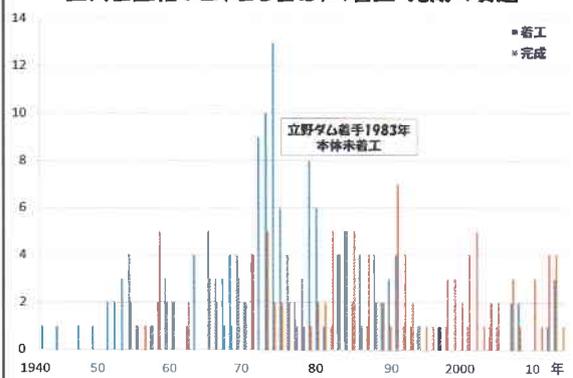
- 明治以前の治水  
かつては洪水を避け、遊ばせた  
戦国時代に信玄の「守り」と秀吉の「攻め」の治水が始まった  
これらが江戸時代の伊奈流と井沢流に引き継がれた
  - 明治以後の治水  
お雇い外国人技師による低水工事  
連続堤方式による高水工事  
河川総合開発による多目的ダムの導入  
貿易摩擦に伴うダム計画の濫造  
治水機能の限定性と環境への影響によるダムへの批判
- 治水の3原則は避水・遊水・封水である  
封水に傾斜したことへの反省が始まっている



### 立野ダム建設事業の経緯の経緯

- 昭和44年4月 予備調査
- 昭和54年4月 実施計画調査着手
- 昭和58年4月 立野ダム建設事業着手
- 平成12年12月 白川水系河川整備基本方針策定
- 平成14年7月 白川水系河川整備計画策定
- 平成21年12月 検証ダムに区分
- 平成23年1月 関係地方公共団体からなる検討の場
- 平成24年10月 国交相「事業継続」決定

### 国交省直轄ダム(堰を含む)の着工・完成の変遷



### 立野ダム建設事業の進捗状況(平成24年3月末時点)

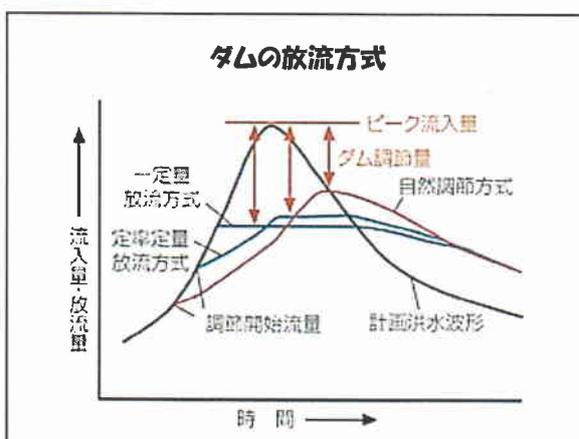
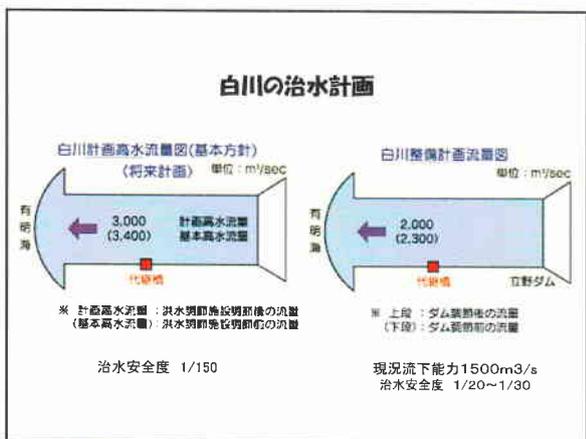
種別	95% ※ 詳細調査開始/現地調査 R2L 5. 詳細調査開始/現地調査
用地取得 (47. 3ha)	99% (45. 4ha) ※ 計画総量100%完了
基礎工 (12. 7万)	100% (12. 7万)
土庫河床 (12. 3万)	80% (10. 2万)
鉄筋コンクリート (1. 8万)	77% (1. 4万)
ダム本体工事 (1. 8万)	0%

### 治水の基本方針

基本高水を河道と流量調節施設に配分する

### 基本方針への批判

- ①基本高水が過大である
- ②河道の流下能力の評価が過小である



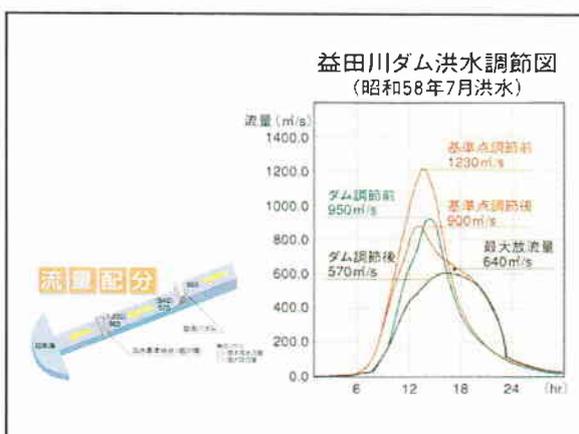
### 立野ダムの放流方式

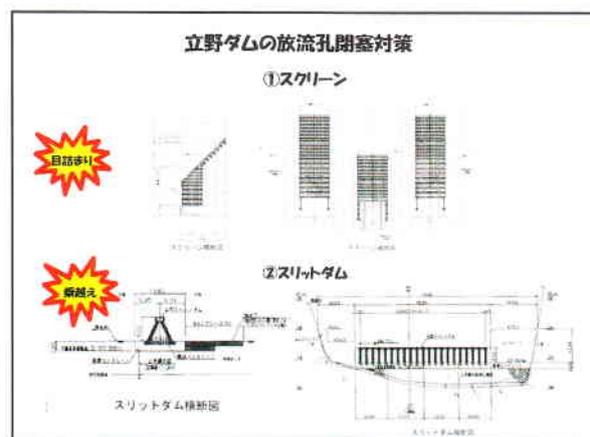
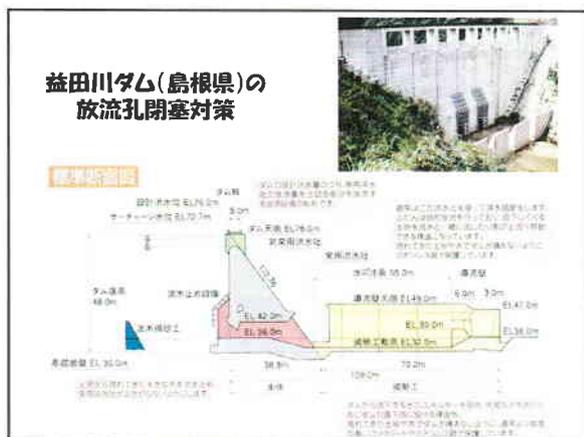
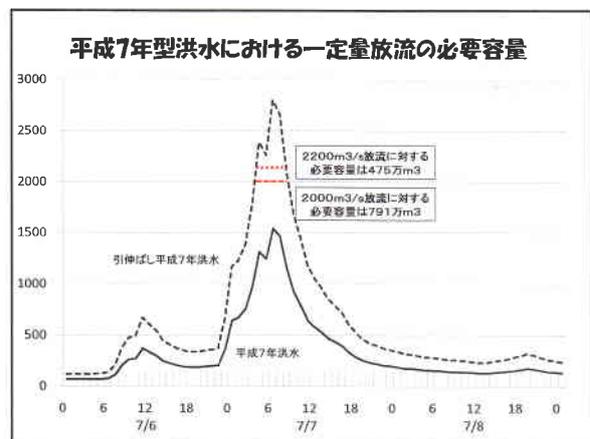
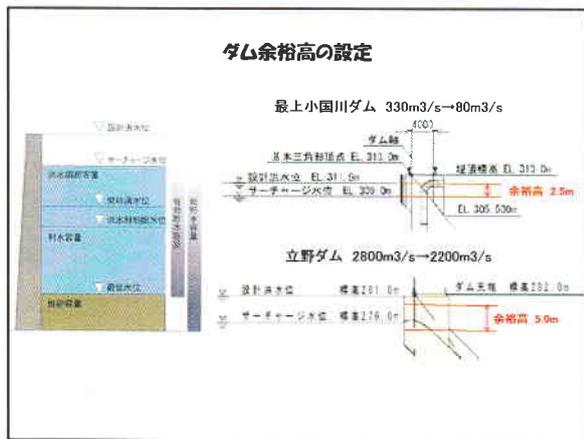
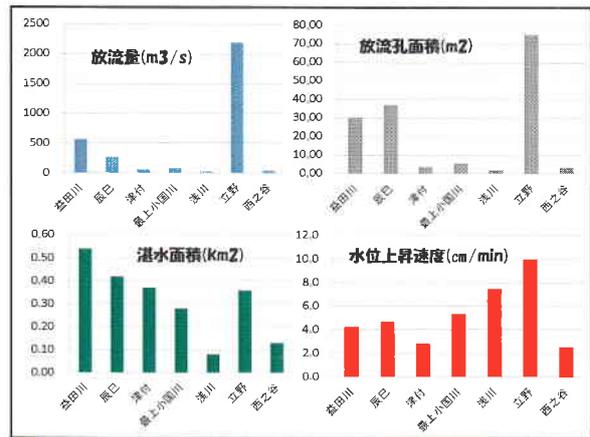
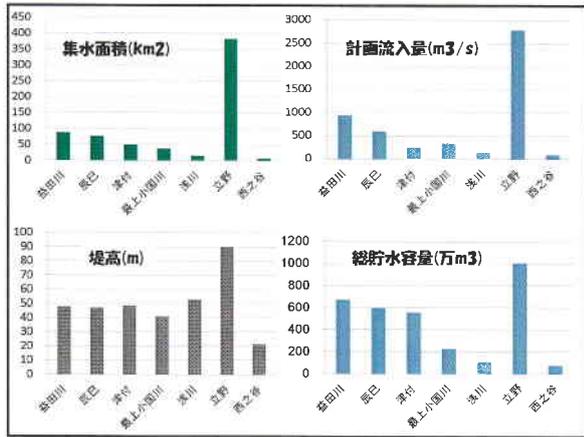
#### ■調節方式(貯留ダム)

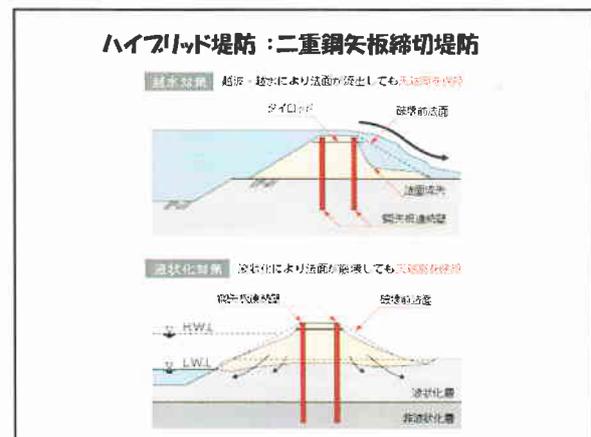
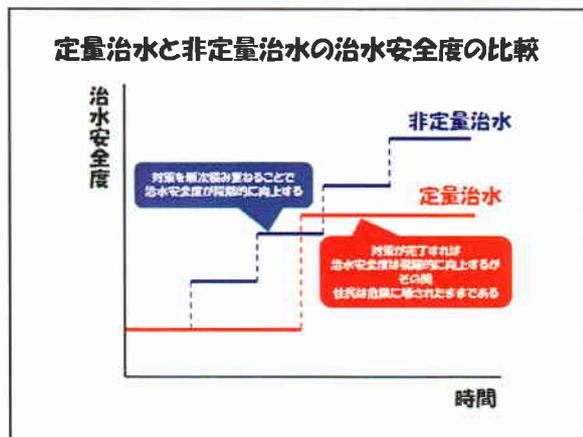
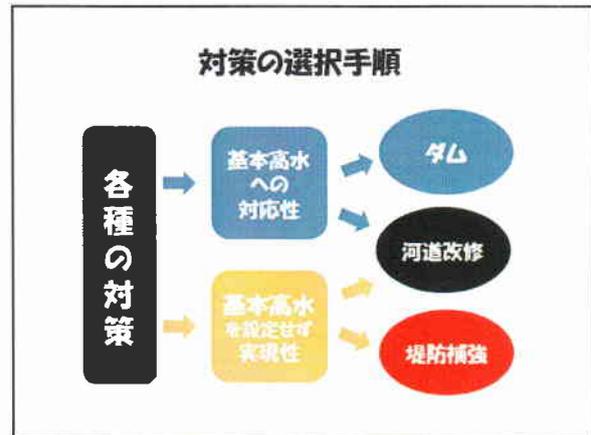
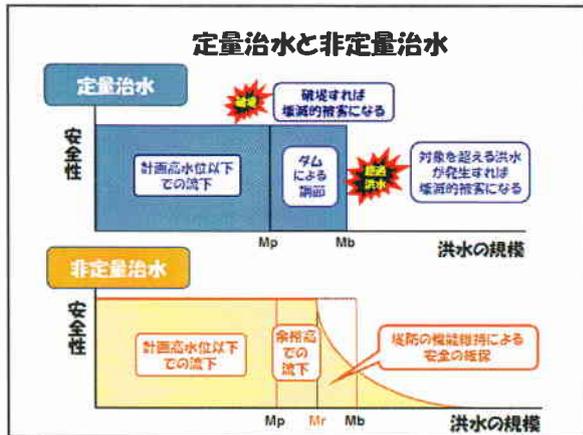
放流口にゲートをつけ、ゲートの操作で放流量を調節する。調節の仕方には一定量放流方式や一定率放流方式などがある。

#### ■自然調節方式(穴あきダム)

放流口にゲートがなく、自然に流れ出すようにして、流量を人為的に調節しない。







### ⑥ハイツリッド堤防(混成堤防)

仮締切に常用されている鋼矢板工法や地下水の遮断に用いられている地中連続壁工法(TRD工法)の堤防補強への適用が民間から提案されている。

国交省は「土堤原則」を盾に認めようとしませんが、海岸堤防ではすでに適用されており、高知県では2012年度から感潮部の河川堤防に適用している。

東日本大震災にも耐えた  
鋼矢板二重締切  
岩手県綾笠川水門一期工事

**結論**

**立野ダムは欠陥ダムである  
直ちに中止して  
非定量治水に転換し  
いかなる洪水に対しても  
住民の生命を守るようにしましょう**

**非定量治水への動き**



図「基本高水治水」研究会意見を伝える 熊本日日新聞

ダムによらぬ治水  
市民ら20人研究会を発足、議論

人吉市

基本高水に委ねない治水論について鹿児島県内の  
鹿児島大学名誉教授の教授・人吉市

治水一研究の発表、熊本高水  
のり方を出発点が  
会が7日、人吉市開 野田工字が  
かた、川野川、立野 基本高水とし  
の崩壊の理由に反対 在野派は、その想  
する市民ら約20人分、基本高水に反対  
議論を交わした。 さい、など四機

河川局西川・川辺 河川の崩壊や堤防崩  
川を来水し、堰す崩壊 遊歩場崩壊など  
都民の公 びびり 遊歩場をめぐり、治水家  
けた、国などがダム められている」と述  
や、助産師などあ

たり、市議の私邸や 建設に反対する市民団  
樹木の根幹となる基本 団（八ヶ野）の全  
高水（大洪水時）想定 体の役員、事務局に  
される河川の崩壊 びびり、事務局に  
民の問題を指摘す する五機組らもあ



研究会に集まったメンバー